

科目：日本史

●問題冊子 2 ページ：大問 I 問 5

設問に対する適切な解答がありませんでした。

当該箇所の設定問につきましては、

解答の有無・内容にかかわらず、

受験生全員に得点を与えることといたします。

●問題冊子 7 ページ：大問 V 8 行目

(誤) ~空票(棄権)を投じた。

(正) ~棄権をした。

以上

日 本 史
(問 題)
2026年度

〈2026 R08203324〉

注 意 事 項

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
2. 問題は2～9ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答は、すべてHBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. マーク解答用紙記入上の注意
 - (1) 印刷されている受験番号が、自分の受験番号と一致していることを確認したうえで、氏名欄に氏名を記入すること。
 - (2) マーク欄にははっきりとマークすること。また、訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残しがないようによく消すこと。

| | | | |
|---------|------|------|------|
| マークする時 | ● 良い | ○ 悪い | ○ 悪い |
| マークを消す時 | ○ 良い | ○ 悪い | ○ 悪い |

5. 記述解答用紙記入上の注意
 - (1) 記述解答用紙の所定欄（2カ所）に、氏名および受験番号を正確に丁寧に記入すること。
 - (2) 所定欄以外に受験番号・氏名を記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
 - (3) 受験番号の記入にあたっては、次の数字見本にしたがい、読みやすいように、正確に丁寧に記入すること。

| | | | | | | | | | | |
|------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 数字見本 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
|------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

6. 解答は、すべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
7. 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離さないこと。
8. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。
9. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。
10. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

〔I〕 次の文を読んで、問に答えなさい。

日本列島は南北に長く、その南と北では歴史的・文化的な経緯も本州中央部と全く同じというわけではない。

後期旧石器時代は極めて寒冷な気候であったため、海面が低下し、北海道はサハリン・沿海州と陸続きとなっていた。旧石器時代の終わり頃には大陸から日本列島へ **A** という小さな石器をつくる技術が伝来した。この石器は槍状にした木や骨の両側に埋め込んで使われた。またその後、完新世の温暖な気候となった 縄文時代 には弓矢が普及し、竪穴住居の建築材も磨製石斧を用いて伐採・加工された。

九州に伝来した 水稲耕作 を基盤とする弥生文化は紀元前4世紀までには東日本へも広まったが、冷涼な北海道ではこの時期に 農耕 を基盤とせず狩猟採集を行う文化が展開された。この文化の後半は 古墳時代 にあたるが、ヤマト政権の勢力は北海道へ及ばなかった。一方、沖縄など南西諸島では食料採集を基盤とする **B** 文化が12世紀ころまで続いた。

〔問〕

- 空欄 **A** に該当する語は何か。漢字3字で記述解答用紙の解答欄に記入しなさい。
- 下線 **a** に関する記述として正しいものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
ア 弓矢は主として儀礼に用いるものであった。
イ ナウマンゾウやオオツノジカを弓矢で狩猟していた。
ウ 次第に森林環境となりイノシシやニホンジカの狩猟には弓矢が適していた。
エ 弓矢は海獣狩猟で用いるものであり、内陸部では用いられなかった。
オ 弓矢は集落間の戦闘で用いられた。
- 下線 **b** に関する記述として正しいものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
ア 伐採用の鉄斧が普及していた。
イ 弥生時代の開始期から鉄製の鎌が用いられた。
ウ 銅剣や銅矛は戦闘用の武器としてのみ使用された。
エ 環濠をめぐるした集落をつくっていた。
オ 定住はせず、水田を作り変え移動して暮らしていた。
- 下線 **c** について、これを何と呼ぶか。1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
ア オホーツク文化 イ アイヌ文化 ウ 擦文文化 エ トビニタイ文化 オ 続縄文文化
- 下線 **d** に関連する記述として誤っているものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
ア 古墳時代前期の前方後円墳として最も古い一群に属するのが箸墓古墳である。
イ 古墳時代前期には丘陵など自然地形を利用した前方後円墳が多い。
ウ 古墳時代中期になると東北地方北部にも前方後円墳が築造された。
エ 古墳時代後期は横穴式石室をもつ古墳が多くなるが、これは朝鮮半島からの影響である。
オ 古墳時代中期になると副葬品は武具・馬具など軍事的なものが多い。
- 空欄 **B** に該当する語は何か。漢字2字で記述解答用紙の解答欄に記入しなさい。

〔Ⅱ〕 次の史料を読んで、問に答えなさい。

史料

(寛仁二年十月)十六日乙巳、今日、女御藤原威子^{にいしご}を以て皇后^{いし}に立つる日なり。前の太政大臣の第三の娘なり。一家三后^{さき}を立つこと、未だ曾^{かつ}てあらず。(中略)太閤^a、下官^bを招き呼びて云はく、和歌を讀まむと欲す。必ず和すべし。者。答へて云はく、何ぞ和し奉らざらむや。又云ふ。誇りたる歌になむ有る。但し、^①宿構^cに非ず。者。此の世をば我が世とぞ思ふ。A^dのかけたることも無しと思へば。余、申して云はく、御歌優美なり。酬答^eに方無し。満座^{ただ}只この歌を誦すべし。(中略)と。諸卿、余の言に響応^eして数度吟詠^{ぎんえい}す。太閤和解^bして殊^{ことさら}に和を責めず。(後略)

①前々から準備しておくこと。

〔問〕

- 下線 a の夫は何という天皇か。1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
ア 後朱雀天皇 イ 三条天皇 ウ 後一条天皇 エ 後冷泉天皇 オ 後三条天皇
- 史料に関連して述べた文として誤っているものはどれか。2つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
ア 史料が記された頃には、極楽往生を願う浄土教が厚く信仰されていた。
イ 史料には、当時太政大臣であった、下線 b の人物の絶頂期が記されている。
ウ 史料が記された頃には、日本や中国の風習を取り入れた年中行事が発展した。
エ 史料が記された頃には、先例を重視した儀式が重んじられた。
オ 史料は、もともと漢字仮名交じり文で書かれている。
- 11世紀頃、下線 b の一生についてとくに詳しく記された歴史物語は何か。漢字4字で記述解答用紙の解答欄に記入しなさい。
- 下線 c・e は誰か。漢字で記述解答用紙の解答欄に記入しなさい。
- 下線 d の意味として、もっとも適当なものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
ア あなたが唱和するのを聞きましょう。
イ きっと返歌をお詠みしましょう。
ウ 唱和できるかどうかわかりません。
エ 誰かに唱和させましょう。
オ どうして唱和することなどできましょうか。
- 空欄 A に該当する語は何か。漢字で記述解答用紙の解答欄に記入しなさい。
- 史料が記された頃、疫神などをまつことで、疫病や飢饉などの災厄から逃れるため、催された祭礼は何か。漢字で記述解答用紙の解答欄に記入しなさい。

〔Ⅲ〕 次の史料を読んで、問に答えなさい。

史料 i

一、喧嘩に及ぶ輩、理非を論ぜず、両方共に死罪に行うべきなり、はたまた相手取り懸くるといふとも、堪忍せしめ、あまつさえ疵^{きず}を被るにおいては、事は非儀たりといふとも、当座穩便のはたらき、理運たるべきなり、兼ねてまた与力の輩、その^①しばにおいて疵を蒙り、又は死するとも、沙汰に及ぶべからざるのよし、先年定めおわんぬ、ついで喧嘩人の成敗、当座その身一人所罪たる上、妻子家内等にかゝるべからず、ただし、しばより落ち行く跡においては、妻子にその咎かかるべきか、しかりといえども、死罪まではあるべからざるか、

①しば=現場

(「 仮名目録」第8条)

史料 ii

一、駿・ 両国之輩、或いはわたくしとして他国より嫁を取り、或いは婿に取り、娘をつかわす事、自今以後停止しおわんぬ、

(「 仮名目録」第30条)

史料 iii

一、各与力の者共、さしたる述懐なき所に、事を左右によせ、みだりに とりかうる事、曲事たるの間、近年停止の処、又、何のよしみなく、当座自然の言の次にたのむばかりの者共を、恩顧の庶子のごとく、永く同心すべきよしを存じ、起請を書かせ、永く同心契約なくば、諸事取次まじきなど、申事、又非分の事なり、

(「 仮名目録追加」第3条)

史料 iv

一、守護使不入の在所と号し、年貢・諸成物無沙汰せしめ、催促承引あたわざる輩、その庄、その郷領主に対して、旨趣を相届け、譴責使を入るべし、その届けに返答あたわざる事、三ヶ度を過ぐれば、言上せしむべし、御中間を遣わさるべき事、

(「六角氏式目」第21条)

史料 v

一、百姓、地頭の年貢所当相つとめず、他領へまかり去る事、盗人の罪科たるべし、よってかの百姓許容のかたへ、申し届くるの上、承引いたさず候わば、格護候族同罪たるべきなり、

(「塵芥集」第77条)

〔問〕

- 1 空欄Aに該当する語は何か。記述解答用紙の解答欄に記入しなさい。
- 2 空欄Bに該当する語はどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
ア 相 イ 甲 ウ 豆 エ 遠 オ 三
- 3 空欄Cに該当する語は何か。漢字2字で記述解答用紙の解答欄に記入しなさい。
- 4 史料 i に記されていることについて述べた文のうち正しいものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
ア 喧嘩をそそのかすような者は理屈をわきまえていないから死罪とする。
イ 相手に喧嘩をしかけられても我慢した者は運が良い。
ウ 喧嘩に加勢した者はその結果死んだとしても問題にしない。
エ 喧嘩した者をその妻子が勝手に処罰してはいけない。
オ 喧嘩の現場から逃げた者を死罪にしてはならない。

5 史料ivに記されていることについて説明した次の文①～④のうち、正しいものが2つあるが、その組み合わせはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。

- ① 守護が年貢は不要だと言うので、催促しない家臣がいた。
- ② ここに守護が干渉することはできないとの主張をする在所があった。
- ③ 年貢が納められない場合、譴責使が領主に苦情を申し立てた。
- ④ 御中間は、事態が紛糾した時に大名が派遣した者だった。

ア ①と③ イ ①と④ ウ ②と③ エ ②と④ オ ③と④

6 史料vに記されていることについて説明した次の文X・Y・Zの正誤の組合せのうち、正しいものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。

- X 百姓が他領で盗みをはたらくことがあった。
- Y 盗みが許された百姓は、大名に届け出をした。
- Z 他領から逃げ込んできた百姓をかくまう者がいた。

ア X-正 Y-正 Z-正 イ X-正 Y-誤 Z-正 ウ X-正 Y-誤 Z-誤
エ X-誤 Y-正 Z-正 オ X-誤 Y-誤 Z-正

7 史料i～vが制定された世紀に起きた出来事①～③を古い順に並べたとき、正しいものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。

- ① 天文法華の乱が起きた。
- ② 安土山下町に楽市令が出された。
- ③ 桶狭間の戦いが起きた。

ア ①→②→③ イ ①→③→② ウ ②→①→③ エ ②→③→① オ ③→①→②

〔IV〕 次の史料を読んで、問に答えなさい。

史料

其頃の船に乗り来りし医者^aの伝来を受たる外科の流法ハ世に残るも有り。これ世に南蛮流とハ云ふなり。其前後より阿蘭陀船ハ御免有て、A 平戸へ船を寄せぬ。黒船御禁止になりし頃も、此国は其党類^bにハ非る次第ありて、引続き渡来を許され給へり。夫より三十三ヶ年目にて、長崎出島^cの南蛮人^dを逐ひ払はれて、其跡へ居を移せしよし。夫より八年々長崎の津に船を来たす事とハ成りぬ。これハ寛永十八年の事なるよし。其後、其船に随従し来れる医師に、亦彼の^e外治の療法を伝へし者も多しとなり。是を阿蘭陀流外科とハ称するなり。

〔『蘭学事始』〕
f

〔問〕

1 下線aについて、誤っているものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。

- ア ポルトガル人やスペイン人を南蛮人といった。
- イ 南蛮貿易の主要交易品は、中国の生糸と日本の銀であった。
- ウ パン、カステラ、カルタなどが南蛮文化を構成した。
- エ 南蛮屏風は、神戸市立博物館所蔵の1点のみが現存している。
- オ このころに来日した宣教師たちの多くは南蛮人であった。

2 下線bについて、正しいものはどれか。2つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。

- ア この国の東インド会社は、長崎に最初の商館をおいた。
- イ 山田長政は、この国の王室に重く用いられた。
- ウ ウィリアム・アダムズらを乗せた、リーフデ号の出発地の国である。
- エ この国の風説書は、商館長によって幕府に提出された。
- オ 1613年から約10年間だけ来日し、その後は日本近世の貿易からは撤退した。

3 空欄Aに該当する旧国名は何か。漢字2字で記述解答用紙の解答欄に記入しなさい。

- 4 下線 c に関連して、次の①～④の出来事または法令を古い順に並べたとき、正しいものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
- ① 自今以後、かれうた渡海の儀、之を停止せられ詔。
 ② 「黒船着岸」の時に輸入生糸の値段を決め、京都、堺、長崎の商人らに一括購入させることにした。
 ③ 黒船の儀ハ商売の事に候間、各別に候の条、年月を経、諸事売買いたすべき事。
 ④ ペリーが率いて来日した艦隊が、「黒船浦賀来航図」などとして描かれた。
- ア ①→③→④→② イ ②→③→①→④ ウ ②→①→④→③
 エ ③→①→②→④ オ ③→②→①→④
- 5 下線 d に関連して、長崎における貿易について述べた文のうち、誤っているものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
- ア 末次平蔵が朱印船貿易をおこなった。
 イ 清国人の居住地が唐人屋敷に限定されたのは、17世紀後半のことである。
 ウ オランダとの人的交流は、長崎奉行の監視下におかれた。
 エ 17世紀半ば以後、日清間の貿易額はつねに減少した。
 オ 日本からの輸出品として、銀や小判があった。
- 6 下線 e に関連して、寛永期の文化について述べた文のうち、正しいものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
- ア 安藤昌益が『自然真営道』を著した。
 イ 酒井田柿右衛門が赤絵を完成させた。
 ウ 司馬江漢が銅版画を始めた。
 エ 耕書堂が恋川春町の黄表紙を刊行した。
 オ 懐徳堂が設立された。
- 7 下線 f に関連して、蘭学を含む洋学について述べた文のうち、誤っているものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
- ア 平賀源内が摩擦発電器の実験をした。
 イ 小田野直武が翻訳医学書の扉絵などを描いた。
 ウ 緒方洪庵が適塾を開いた。
 エ 稲村三伯が『ハルマ和解』を作成した。
 オ 大塩平八郎が洗心洞を開いた。

〔V〕 次の文を読んで、問に答えなさい。

近代日本では雄弁家の政治家は首相になるのがむつかしいと言われることがある。これはあくまで弁論の力によって相手を納得させるよりも、たとえば水面下で行われる交渉、根回しなどによって政治上の支持や協力を引き出す方がはるかに現実的、かつ迅速に事態が動くという理由によるところが大きい。

ただし、西洋文化・思想を受け入れるに当たり、弁論の持つ力が重要な役割を果たすことは一部の識者によって理解されていた。福沢諭吉^aによって、慶應義塾内に三田演説館が建築されたのはその一例である。また、有志による演説が活発となったきっかけのひとつに、足尾銅山^b鉍毒事件があったように、近代日本の演説、弁論の背景には社会問題への強い関心があった。

近代の政治史において雄弁をもって知られた代議士として、しばしば取り上げられるのが犬養毅と **A** である。この両者はともに1890年、第1回衆議院選挙で当選を果たし、以後明治・大正・昭和と複数の政党を経ながら息の長い活動をし、普通選挙制度確立に向けて尽力した点でも共通している。1898年、**A** は初の政党内閣といわれた第1次大隈重信内閣の文相に就任するが、**B** 演説事件によって辞任に追い込まれた。これは当時、彼の演説が持っていた影響力を抜きにしては考えられない事件といえよう。両者はやがて第1次護憲運動と、その後起こった大正政

変に大きな役割を果たすが、そこには彼らが持っていた雄弁家としての高い知名度があったことが大きい。大正期以降、**A** は政治家として中正会、憲政会などの政党を経ながら、シベリア出兵反対、軍備縮小などを説き続けた。そして1925年、立憲政友会が陸軍出身で長州閥の田中義一を総裁に据え、**A** が当時所属していた**C** を吸収するや、これを脱党し、それ以降は無所属として政治活動を続けた。

1929年に立憲政友会総裁に就任した^d犬養毅は、第2次若槻礼次郎内閣の後を受けて1931年12月、内閣を組織した。雄弁家が首相になることは珍しい事例といえたが、翌年の^e五・一五事件において凶弾に倒れ、内閣は総辞職した。

その後の**A** は、1930年代に入って台頭する軍部への批判的な姿勢を崩さず、1940年、反軍演説を行った^f斎藤隆夫の除名問題では、票決に際し多くの議員が賛成に廻る中で空票（棄権）を投じた。これは雄弁家とは少数者たることを怖れないことを示す重要な場面と言える。

戦後日本の政治史において、雄弁家という言葉自体がもはや政治から遠い言葉となってしまった観がある。その中にも、**A** の政治活動は続き、1952年の総選挙まで計25回の連続当選を数え、“**D** の神様”と呼ばれるにふさわしい政治家としての人生を送った。ちょうどこの年、前年に行われた^g講和会議で調印されたサンフランシスコ平和条約が発効し、アメリカによる占領が終わったことは象徴的である。1974年12月に内閣を組織することとなった**E** は学生時代雄弁部に属し、弁が立つ政治家として定評があったが、これはむしろ、直前まで首相をつとめた田中角栄の金脈問題から、廉潔な政治家を後任の首相に据えるという当時の自由民主党が抱えた政治課題が介在していることを考える必要があるだろう。

〔問〕

- 下線 a の人物に関連する文章として、正しいものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
ア 啓蒙的な観点から『西洋事情』を著した。
イ 私擬憲法「日本憲法見込案」を作成した。
ウ 自らの発議によって立志社を結成した。
エ J.S.ミルの「自由論」を翻訳し、『自由之理』として刊行した。
オ 不偏不党の立場から『国民新聞』を創刊したが、日清戦争後は国権論に転じた。
- 下線 b の鉱山を経営していた財閥はどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
ア 安田財閥 イ 住友財閥 ウ 古河財閥 エ 三井財閥 オ 浅野財閥
- 空欄 A に該当する人名は何か。漢字で記述解答用紙の解答欄に記入しなさい。
- 空欄 B に該当する語句は何か。漢字2字で記述解答用紙の解答欄に記入しなさい。
- 下線 c に関連する文章として、誤っているものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
ア 立憲政友会と立憲国民党が内閣不信任案を提出し、支持する民衆が議会を包囲した。
イ この政変によって第3次桂太郎内閣は短期のうちに退陣することとなった。
ウ 政変後に行われた総選挙では、護憲三派の圧勝のうちに終わった。
エ 首相・桂太郎は政権運営のため、元老政治からの離脱を企図して新党の創立を宣言したが、在世中は達成できなかった。
オ 政変後は海軍大将・山本権兵衛が立憲政友会を与党とする内閣を組織した。
- 空欄 C に該当する語句は何か。漢字5字で記述解答用紙の解答欄に記入しなさい。
- 下線 d の内閣の期間中に起こった出来事はどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
ア 日独防共協定の締結
イ 日満議定書の調印
ウ 金輸出の再禁止
エ 重要産業統制法の制定
オ ロンドン海軍軍備制限条約の調印

- 8 下線 e に関連して、この時期に起こったクーデター事件①～④を古い順に並べた時、正しいものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
- ① 三月事件 ② 十月事件 ③ 五・一五事件 ④ 二・二六事件
- ア ②→①→③→④ イ ③→②→①→④ ウ ①→③→②→④
- エ ①→②→③→④ オ ③→①→②→④
- 9 下線 f が起こった時の内閣はどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
- ア 斎藤実内閣 イ 平沼騏一郎内閣 ウ 広田弘毅内閣 エ 米内光政内閣 オ 林銑十郎内閣
- 10 空欄 D に該当する語句は何か。漢字 2 字で記述解答用紙の解答欄に記入しなさい。
- 11 下線 g に関連する文章として、誤っているものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
- ア 領土については朝鮮の独立、台湾・南樺太・千島列島などの放棄が定められた。
- イ 南西諸島・小笠原諸島はアメリカの施政権の下に置かれた。
- ウ 調印と同じ日、日米安全保障条約が調印された。
- エ 日本国内では全交戦国との全面講和を望む意見も聞かれた。
- オ 主な交戦国だった中国は、中華民国のみが講和会議に招かれた。
- 12 空欄 E に該当する人名は何か。漢字で記述解答用紙の解答欄に記入しなさい。

〔VI〕 次の文を読んで、問に答えなさい。

藤岡作太郎（1870～1910）は国文学にとどまらず、幅広い分野で業績を残した学者である。1903年に著した『近世絵画史』において、藤岡は江戸時代以降の日本絵画史を 5 つの時期に分けてまとめた。この著述は、現在もなお近世美術史の通史として高く評価されている。

第一期は「狩野全盛 寛永の頃を主として、ついで遙かにその後に及ぶ」と題して、狩野探幽を筆頭に、やまと絵の土佐派、住吉派、岩佐又兵衛らを取り上げる。

第二期は「横流下行 ^a 元禄の前後より、享保に至るまでのことを主とす」と題し、尾形光琳や英一蝶について述べる。

第三期は「旧風革新 ^b 享保以後、宝暦を経、安永前後を中心として、寛政におよぶ」と題され、^c 中国から長崎へ伝わった写生画 ^d と文人画がこの時期の日本に新たな感化を与えたことを指摘し、京都で池大雅や与謝蕪村、円山応挙などが登場したことを述べる。

第四期は「諸派角逐 寛政より文化、文政を中心とし、天保を経て、維新の際におよぶ」とする。ここではまず京都画壇の呉春と岸駒、江戸画壇の谷文晁と酒井抱一を対比的に取り上げるとともに、^e 豊後国竹田の岡藩につかえた田能村竹田をはじめ、全国の各地域でも画家たちの活躍がさかんとしたことに言及する。

第五期は「内外融化」と題し、明治年間のうち本書が刊行された明治36年あたりまでの状況を概説して終わっている。^f

〔問〕

- 1 下線 a について、誤っているものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
- ア 住吉派は土佐派から分かれた。
- イ 住吉派は土佐派と同じく絵所として朝廷につかえた。
- ウ 住吉具慶は狩野探幽よりも年少である。
- エ 住吉具慶は住吉如慶の子である。
- オ 住吉具慶は『洛中洛外図巻』や『都鄙図巻』を描いた。
- 2 下線 b について、この時期に作られた廻遊式庭園で、柳沢吉保が設計に関わったのはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
- ア 桂離宮 イ 後樂園 ウ 修学院離宮 エ 六義園 オ 龍安寺

- 3 下線 c について。この期間の中に含まれない年号は何か。2つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
- ア 寛文 イ 寛保 ウ 正徳 エ 天明 オ 明和
- 4 下線 d について。京都で活躍し、相国寺に寄進した『動植綵絵』をはじめ、主に鶏の写生をもとに、図1のような動植物を題材とする緻密な作品を数多く残したのは誰か。漢字4字で記述解答用紙の解答欄に記入しなさい。
- 5 下線 e について。同地で少年期を過ごした音楽家で、「お正月」「荒城の月」「花」などを作曲したことで知られるのはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
- ア 伊沢修二 イ 北原白秋 ウ 滝廉太郎 エ 宮城道雄 オ 山田耕作
- 6 下線 f について。本書の刊行当時、東京美術学校卒業生の中堅画家として名前をあげられているのはどれか。2つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
- ア 狩野芳崖 イ 下村観山 ウ 高橋由一 エ 橋本雅邦 オ 菱田春草



図1

[以下余白]

日 本 史

記述解答用紙

〈2026 R 08203324〉

| | | | | | |
|------|---|---|---|---|---|
| 受験番号 | 万 | 千 | 百 | 十 | 一 |
| | | | | | |
| 氏名 | | | | | |

(注意) 所定欄以外に受験番号・氏名を記入してはならない。記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。

〈2026 R 08203324〉

| | | | | | |
|------|---|---|---|---|---|
| 受験番号 | 万 | 千 | 百 | 十 | 一 |
| | | | | | |
| 氏名 | | | | | |

(注意) 所定欄以外に受験番号・氏名を記入してはならない。記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。

採 点 欄

(この欄に書き入れてはならない)

〔 I 〕

| | | | |
|---|--|--|--|
| 1 | | | |
|---|--|--|--|

| | | |
|---|--|--|
| 6 | | |
|---|--|--|

〔 II 〕

| | | | | |
|---|--|--|--|--|
| 3 | | | | |
|---|--|--|--|--|

| | | | | |
|---|--|--|--|--|
| 4 | | | | |
|---|--|--|--|--|

| | | | | |
|---|--|--|--|--|
| 6 | | | | |
|---|--|--|--|--|

| | | | | |
|---|--|--|--|--|
| 7 | | | | |
|---|--|--|--|--|

〔 III 〕

| | | | | |
|---|--|--|--|--|
| 1 | | | | |
|---|--|--|--|--|

| | | |
|---|--|--|
| 3 | | |
|---|--|--|

〔 IV 〕

| | | |
|---|--|--|
| 3 | | |
|---|--|--|

〔 V 〕

| | | | | |
|---|--|--|--|--|
| 3 | | | | |
|---|--|--|--|--|

| | | |
|---|--|--|
| 4 | | |
|---|--|--|

| | | | | |
|---|--|--|--|--|
| 6 | | | | |
|---|--|--|--|--|

| | | |
|----|--|--|
| 10 | | |
|----|--|--|

| | | | | |
|----|--|--|--|--|
| 12 | | | | |
|----|--|--|--|--|

〔 VI 〕

| | | | |
|---|--|--|--|
| 4 | | | |
|---|--|--|--|

〔 I 〕

| | |
|---|--|
| 1 | |
|---|--|

〔 II 〕

| | |
|---|--|
| 2 | |
| 3 | |

〔 III 〕

| | |
|---|--|
| 4 | |
|---|--|

〔 IV 〕

| | |
|---|--|
| 5 | |
|---|--|

〔 V 〕

| | |
|---|--|
| 6 | |
| 7 | |
| 8 | |

〔 VI 〕

| | |
|---|--|
| 9 | |
|---|--|